NIE実践報告

1．タイトル：☆かたかなを見つけよう

2．学校名

三重県玉城町立有田小学校

3．実践者名（代表者名）

田中　基之

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　37人

6．単元（本時の学習課題）名

「かたかなを見つけよう」

7．目標（狙い）

・身近な情報源である新聞には、たくさんの片仮名が使われていることに気付く。
・教科書で学習した片仮名が使われる用例として挙げられている、a.動物の鳴き声、b.いろいろな物の音、c.外国

8．評価の視点

・新聞から進んで片仮名を見つけようとしているか。
・見つけた片仮名がどの用例に当てはまるのかをグループで協力して解決しようとしているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

(1)国語「かたかなで書くことば」の教材文をもとに、どんな場合に片仮名が使われるのか知る。(1時間)
(2)片仮名で書く言葉を学校の中で探す。(1時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

4人程度のグループ学習で、持ち寄った新聞から片仮名を探す。見つけた片仮名は、a.動物の鳴き声、b.いろいろな物の音、c.外国の、国・土地の名前・人の名前、d.外国から来た言葉、その他に分類して、プリントに書いていく。いくつ見つけることができるかグループ対抗にすることで、意欲づけを行う。

意味や分類のわからないものは、グループで話し合って解決させるが、どうしてもわからないものは、指導者に聞いてよいことにする。グループ学習の利点として、慣れない片仮名をプリントに写す時に、正しく書いているか互いに教え合うことができることも挙げられる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

(児童の感想)すごくかたかなって多いと思いました。外国から来たことばが多くて、べんきょうになったと思いました。これからもいっぱい新聞を読んだりしたいです。ちょっとわからなかったことばもあったけど、みんなに教えてもらったり、先生に教えてもらったりしてわかって、うれしかったです。

12．成果と課題

子どもの日頃耳にしている片仮名を出し合うだけでなく、さらに新聞も活用したことで、片仮名があふれていることに気付くことができた。

課題としては、子どもではどうしても解決できないことがあり、必要に応じて担任が助言しなければならないことがしばしばあったことである。